

# 平成26年度 事後評価対象箇所調査表

資料3-1

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	所在地	工期		事業費(千円)		事業量	担当課担当
					当初	完了	当初	完了		
1	農業農村整備事業	地すべり対策事業	境野	有田町	H14～H20	当初	351,000	杭打工N=82本、水抜工N=39本、アーカー工N=26本、排水路工L=1,143m	農山漁村課 農地防災担当	
					完了	完了	207,690			
2	農業農村整備事業	クリーク防災機能保全対策事業	天建寺	みやき町	H13～H20	当初	1,560,000	水路工L=4,966m	農山漁村課 農地防災担当	
					完了	完了	1,243,190			
3	農業農村整備事業	ため池等整備事業	瀬戸	唐津市	H17～H20	当初	95,000	堤体工L=55m 取水施設工1式 余水吐放水路工L=32m 法面保護工1式	農山漁村課 農地防災担当	
					完了	完了	69,000			
4	農業農村整備事業	ため池等整備事業	湯野尾上	玄海町	H17～H20	当初	50,000	堤体工L=127m 取水施設工1式 余水吐放水路工L=15m 法面保護工1式	農山漁村課 農地防災担当	
					完了	完了	39,500			
5	農業農村整備事業	ため池等整備事業	木場前	唐津市	H17～H20	当初	50,000	堤体工L=69m 取水施設工1式 余水吐放水路工L=24m 法面保護工1式	農山漁村課 農地防災担当	
					完了	完了	36,002			
6	農業農村整備事業	一般農道整備事業	八平北	白石町	H17～H20	当初	240,000	農道工 L=11,098m	農地整備課 基盤整備担当	
					完了	完了	200,000			
7	農業農村整備事業	ほ場整備事業	兵庫東部	佐賀市	H14～H18	当初	1,290,000	区画整理 A=70.1ha	農地整備課 基盤整備担当	
					完了	完了	1,110,270			
8	農業農村整備事業	経営体育成基盤整備事業	塩田東部	嬉野市	H16～H20	当初	520,800	用排水路工 L=7,977m 農道工 L=677m	農地整備課 基盤整備担当	
					完了	完了	457,800			
9	農業農村整備事業	地域水田農業支援緊急整備事業	北鹿島	鹿島市	H17～H19	当初	402,000	暗渠排水工 A=258.1ha	農地整備課 基盤整備担当	
					完了	完了	379,050			
10	農業農村整備事業	地域水田農業支援緊急整備事業	北方	武雄市	H18～H20	当初	160,600	暗渠排水工 A=115.4ha	農地整備課 基盤整備担当	
					完了	完了	147,000			

# 平成26年度 事後評価対象箇所調査表

資料3-1

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	所在地	工期		事業費(千円)		事業量	担当課担当
					当初	完了	当初	完了		
11	河川事業	水辺空間創出事業	田手川	吉野ヶ里町松隈	H16～H18	当初	51,250	完了	基本構想 1式 護岸工 1式 親水公園造成 1式 植栽工 1式	河川砂防課 治水担当
					H16～H18	完了	51,250	完了		
12	河川事業	水辺空間創出事業	寒水川	みやき町囊原	H16～H18	当初	51,250	完了	基本構想 1式 場内整地工 1式 親水プール施設 1式 植栽工 1式	河川砂防課 治水担当
					H16～H18	完了	51,250	完了		
13	河川事業	水辺空間創出事業	伊万里市 大川内町乙	伊万里市 大川内町乙	H16～H18	当初	51,250	完了	基本構想 1式 護岸工 1式 親水魚道施設 1式 植栽工 1式	河川砂防課 治水担当
					H16～H18	完了	51,250	完了		
14	河川事業	水辺空間創出事業	塩田川	嬉野市 嬉野町下野	H16～H19	当初	51,250	完了	基本構想 1式 遊歩道 1式 親水施設 1式 植栽工 1式	河川砂防課 治水担当
					H16～H19	完了	51,250	完了		
15	河川事業	水辺空間創出事業	今出川	多久市北多久町 多久原	H17～H19	当初	26,250	完了	基本構想 1式 遊歩道 1式 親水性落差工 1式 河床整備 1式	河川砂防課 治水担当
					H17～H19	完了	26,250	完了		
16	河川事業	水辺空間創出事業	有田川	有田町大木宿	H17～H19	当初	51,250	完了	基本構想 1式 護岸工 1式 階段工 1式 親水公園造成 1式	河川砂防課 治水担当
					H17～H19	完了	51,250	完了		
17	砂防事業	通常砂防事業	不津坂川	唐津市厳木町	H18～H22	当初	250,000	完了	砂防堰堤工 (不透過型) N=1基	河川砂防課 砂防担当
					H18～H20	完了	150,000	完了		
18	砂防事業	通常砂防事業	辻川第1	伊万里市 波多津町	H17～H20	当初	200,000	完了	砂防堰堤工 (不透過型) N=1基	河川砂防課 砂防担当
					H17～H20	完了	164,000	完了		
19	急傾斜事業	急傾斜地崩壊対策 事業	大川内山第3	伊万里市 大川内町	H18～H20	当初	120,000	完了	擁壁工 1式	河川砂防課 砂防担当
					H18～H20	完了	132,000	完了		
20	急傾斜事業	急傾斜地崩壊対策 事業	柚木	佐賀市大和町	H20	当初	24,000	完了	擁壁工 1式	河川砂防課 砂防担当
					H20	完了	36,800	完了		

# 平成26年度 事後評価対象箇所調査表

資料3-1

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	所在地	工期		事業費(千円)		事業量	担当課担当
					当初	完了	当初	完了		
21	急傾斜事業	急傾斜地崩壊対策事業	千原第2	唐津市相知町	H18～H20	当初	150,000	法面工 1式	河川砂防課 砂防担当	
					完了	完了	176,120			
22	急傾斜事業	急傾斜地崩壊対策事業	上ノ山	伊万里市 脇田町	H18～H20	当初	120,000	擁壁工 1式	河川砂防課 砂防担当	
					完了	完了	72,550			
23	急傾斜事業	急傾斜地崩壊対策事業	牛の尾	小城市小城町	H19	当初	30,000	擁壁工 1式 法面工 1式	河川砂防課 砂防担当	
					完了	完了	28,100			
24	治山事業	水流域 地域保全	伊福	太良町	H18～H20	当初	195,610	谷止工 1個、浸透促進工 2基 作業車道 1,503m 本数調整伐 37ha	森林整備課 治山担当	
					完了	完了	190,503			
25	道路事業	地方道路交付金事業	佐賀外環状線 (福富工区)	川副町福富	H13～H18	当初	510,000	現道拡幅 L=500m、W=6.0(11.0)m	地方道担当	
					完了	完了	379,000			
26	道路事業	道路改築事業	七山蔵木線	唐津市蔵木町 浦川内	H8～H16	当初	540,000	現道拡幅 L=1,000m、W=6.0(10.0)m	地方道担当	
					完了	完了	605,000			
27	道路事業	道路改築事業	岩屋川内嬉野温泉 泉停車場線	嬉野町中通	H7～H16	当初	320,000	現道拡幅 L=460m、W=5.5(9.25)m	地方道担当	
					完了	完了	376,000			
28	道路事業	交通安全施設等整備事業	国道264号	神崎市千代田町 下板	H12～H19	当初	700,000	自歩道整備 L=760m、W=6.5(15.0)m	交通安全・市町村道 担当	
					完了	完了	1,030,000			
29	道路事業	地方道路交付金事業	伊万里山内線	伊万里市大坪町	H11～H15	当初	1,600,000	歩道整備 L=1,225m、W=6.0(16.5)m	交通安全・市町村道 担当	
					完了	完了	1,937,000			
30	道路事業	地方道路交付金事業	佐賀川副線	佐賀市川副町 西古賀	H16～H20	当初	630,000	自歩道整備 L=760m、W=6.5(15.0)m	交通安全・市町村道 担当	
					完了	完了	630,000			

# 平成26年度 事後評価対象箇所調査表

資料3-1

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	所在地	工期		事業費(千円)		事業量	担当課担当
					当初	完了	当初	完了		
31	道路事業	地方道路交付金事業	小城牛津線	小城市三日月町 久米	当初	H14～H20	当初	640,000	自歩道整備 L=440m、W=6.0(14.0)m	交通安全・市町村道 担当
					完了	H14～H20	完了	784,000		
32	道路事業	地方道路交付金事業	鳥巢浜崎停車場線	唐津市浜玉町 浜崎	当初	H15～H19	当初	650,000	自歩道整備 L=245m、W=6.0(10.5)m	交通安全・市町村道 担当
					完了	H15～H20	完了	770,000		
33	道路事業	特殊改良	国道323号 (玉島バイパス)	唐津市浜玉町五 反田～南山	当初	H15～H18	当初	1,500,000	道路改良 L=1.1km、W=6.5 (12.0) m	道路課 幹線道担当
					完了	H15～H20	完了	2,151,000		
34	道路事業	離島架橋	鷹島肥前線 (鷹島肥前大橋)	長崎県松浦市鷹 島町石川～唐津 市肥前町星賀	当初	H9～H20	当初	6,600,000	道路改良 L=1.3km、W=6.0 (10.0) m 橋梁部 L=0.6km、W=6.0 (9.75) m (佐賀県施工分)	道路課 幹線道担当
					完了	H9～H20	完了	6,600,000		
35	港湾事業	伊万里港改修(重要)	久原北	伊万里市	当初	S57～H20	当初	3,000,000	航路(-10m)浚渫工 1,713,000m <sup>3</sup> 泊地(-10m)浚渫工 1,661,000m <sup>3</sup>	港湾課
					完了	S57～H20	完了	3,093,000		
36	港湾事業	星賀港改修(地方)	行田山	唐津市	当初	H19～H20	当初	14,200	臨港道路工 延長67m	港湾課
					完了	H19～H20	完了	14,200		

平成26年度 簡易事後評価結果一覧表

資料3-2

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	事業量及び事業内容	評価項目						
					事業効果(波及効果)の発現状況	事業による環境へ影響		施設の維持管理状況	地域住民等県民の意見	改善措置の必要性	
						生活環境	自然環境				社会文化環境
1	農業農村整備事業	地すべり対策事業	境野	杭打工N=82本、水抜工N=39本、アーカー工N=26本、排水路工L=1,143m	B	B	B	B	B	B	B
2	農業農村整備事業	クリーク防災機能保全対策事業	天建寺	水路工L=4,966m	B	B	B	A	B	B	B
3	農業農村整備事業	ため池等整備事業	瀬戸	堤体工L=55m 取水施設工1式 余水吐放水路工L=32m 法面保護工1式	B	B	B	B	B	B	B
4	農業農村整備事業	ため池等整備事業	湯野尾上	堤体工L=127m 取水施設工1式 余水吐放水路工L=15m 法面保護工1式	B	B	B	B	B	B	B
5	農業農村整備事業	ため池等整備事業	木場前	堤体工L=69m 取水施設工1式 余水吐放水路工L=24m 法面保護工1式	B	B	B	B	B	B	B
6	農業農村整備事業	一般農道整備事業	白石町八平北	農道工L=11,098m	B	B	B	B	B	B	B
7	農業農村整備事業	ほ場整備事業	佐賀市兵庫東部	区画整理A=70.1ha	A	A	B	A	B	B	B
8	農業農村整備事業	経営体育成基盤整備事業	嬉野市塩田東部	用排水路工L=7,977m 農道工L=677m	B	B	B	A	B	B	B
9	農業農村整備事業	地域水田農業支援緊急整備事業	鹿島市北鹿島	暗渠排水工A=258.1ha	B	B	B	A	B	B	B
10	農業農村整備事業	地域水田農業支援緊急整備事業	武雄市北方	暗渠排水工A=115.4ha	B	B	B	A	B	B	B

平成26年度 簡易事後評価結果一覧表

資料3-2

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	事業量及び事業内容	評価項目						
					事業効果(波及効果)の発現状況	事業による環境へ影響		施設の維持管理状況	地域住民等県民の意見	改善措置の必要性	
						生活環境	自然環境				社会文化環境
11	河川事業	水辺空間創出事業	田手川	基本構想 1式 護岸工 1式 親水公園造成 1式 植栽工 1式	B	B	B	A	A	A	B
12	河川事業	水辺空間創出事業	寒水川	基本構想 1式 場内整地工 1式 親水プール施設 1式 植栽工 1式	B	B	B	A	A	A	B
13	河川事業	水辺空間創出事業	伊万里川	基本構想 1式 護岸工 1式 親水魚道施設 1式 植栽工 1式	A	B	B	A	A	A	B
14	河川事業	水辺空間創出事業	塩田川	基本構想 1式 遊歩道 1式 親水施設 1式 植栽工 1式	A	B	B	A	A	A	B
15	河川事業	水辺空間創出事業	今出川	基本構想 1式 遊歩道 1式 親水性落差工 1式 河床整備 1式	B	B	B	A	A	A	B
16	河川事業	水辺空間創出事業	有田川	基本構想 1式 護岸工 1式 階段工 1式 親水公園造成 1式	B	B	B	A	A	A	B
17	砂防事業	通常砂防事業	不津坂川	砂防堰堤工 (不透過型) N=1基	B	B	B	B	B	B	B
18	砂防事業	通常砂防事業	辻川第1	砂防堰堤工 (不透過型) N=1基	B	B	B	B	B	B	B
19	急傾斜事業	急傾斜地崩壊対策事業	大川内山第3	擁壁工 1式	B	B	B	B	B	B	B
20	急傾斜事業	急傾斜地崩壊対策事業	柚木	擁壁工 1式	B	B	B	B	B	B	B

# 平成26年度 簡易事後評価結果一覧表

資料3-2

番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	事業量及び事業内容	評価項目						
					事業による環境へ影響		施設の維持管理状況	地域住民等 県民の意見	改善措置 の必要性		
					生活環境	自然環境				社会文化環境	
事業効果(波及効果)の発現状況	生活環境	自然環境	社会文化環境	施設の維持管理状況	地域住民等 県民の意見	改善措置 の必要性					
21	急傾斜事業	急傾斜地崩壊対策事業	千原第2	法面工 1式	B	B	B	B	B	B	B
22	急傾斜事業	急傾斜地崩壊対策事業	上ノ山	擁壁工 1式	B	B	B	B	B	B	B
23	急傾斜事業	急傾斜地崩壊対策事業	牛の尾	擁壁工 1式 法面工 1式	B	B	B	B	B	B	B
24	治山事業	水源流域地域保全	太良町伊福	谷止工 1個、浸透促進工 2基 作業車道 1,503m 本数調整伐 37ha	B	A	B	B	B	B	B
25	道路事業	地方道路交付金事業	佐賀外環状線 (福富工区)	現道拡幅 L=500m、W=6.0(11.0)m	B	B	B	A	B	B	B
26	道路事業	道路改築事業	七山蔵木線	現道拡幅 L=1,000m、W=6.0(10.0)m	B	B	B	A	B	B	B
27	道路事業	道路改築事業	岩屋川内膳野温泉停車場線	現道拡幅 L=460m、W=5.5(9.25)m	B	B	B	A	B	B	B
28	道路事業	交通安全施設等整備事業	国道264号	自歩道整備 L=760m、W=6.5(15.0)m	B	A	B	A	B	B	B
29	道路事業	地方道路交付金事業	伊万里山内線	歩道整備 L=1,225m、W=6.0(16.5)m	B	A	B	A	B	B	B
30	道路事業	地方道路交付金事業	佐賀川副線	自歩道整備 L=760m、W=6.5(15.0)m	B	A	B	A	B	B	B

# 平成26年度 簡易事後評価結果一覧表

資料3-2

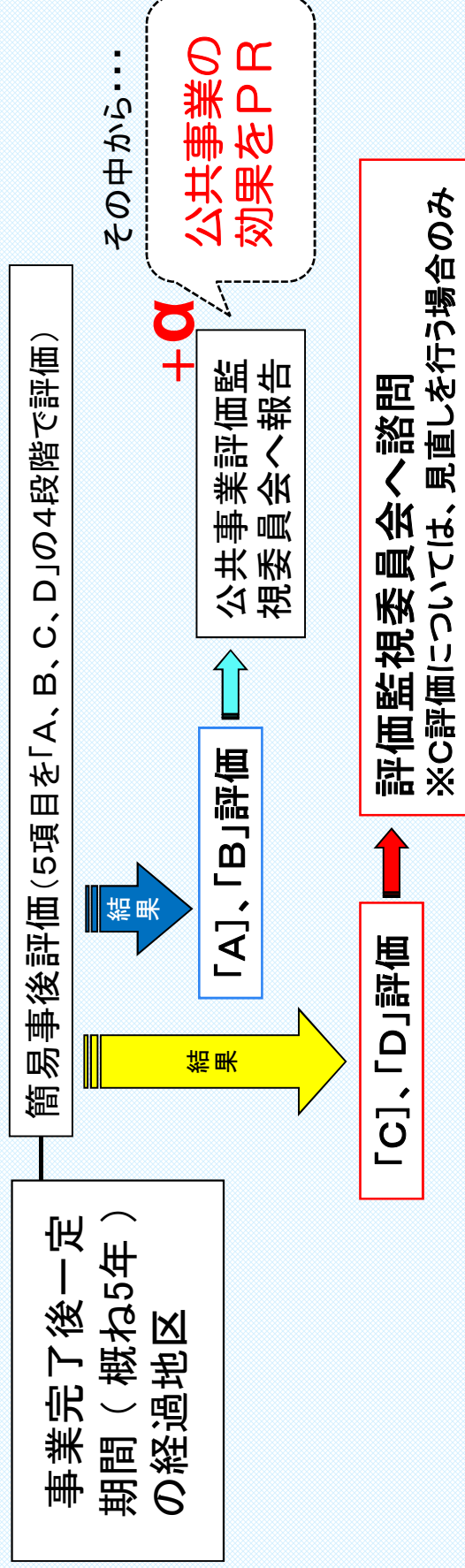
番号	要綱第2対象事業名	事業名	地区又は箇所名	事業量及び事業内容	評価項目					
					事業による環境へ影響		施設の維持管理状況	地域住民等 県民の意見	改善措置 の必要性	
					生活環境	自然環境				社会文化環境
事業効果(波及効果)の発現状況	生活環境	自然環境	社会文化環境	施設の維持管理状況	地域住民等 県民の意見	改善措置 の必要性				
31	道路事業	地方道路交付金事業	小城牛津線	自歩道整備 L=440m、W=6.0(14.0)m	A	B	A	B	B	B
32	道路事業	地方道路交付金事業	鳥巢浜崎停車場線	自歩道整備 L=245m、W=6.0(10.5)m	A	B	A	B	B	B
33	道路事業	特殊改良	国道323号 (玉島バイパス)	道路改良L=1.1km、W=6.5(12.0)m	A	B	A	B	B	B
34	道路事業	離島架橋	鷹島肥前線 (鷹島肥前大橋)	道路改良L=1.3km、W=6.0(10.0)m 橋梁部 L=0.6km、W=6.0(9.75)m(佐賀 県施工分)	B	B	A	B	B	B
35	港湾事業	伊万里港改修(重要)	伊万里市久原北	航路(-10m)浚渫工 1,713,000m <sup>3</sup> 泊地(-10m)浚渫工 1,661,000m <sup>3</sup>	B	B	B	B	B	B
36	港湾事業	星賀港改修(地方)	唐津市行田山	臨港道路工 延長67m	B	B	B	B	B	B



### 公共事業事後評価の目的

- 公共事業の効率性、その実施過程の透明性。
- 事業完了後の効果等を確認し、必要に応じて適切な措置を検討。
- 事後評価結果を今後実施する事業の計画、または実施中の事業等に反映させる。

### 「公共事業事後評価」の流れ



○見直しを行う事業については、**同種・同類の新規事業（新規評マニュアル）や計画・実施中の事業等へ反映・改善させる。**

・「C」評価 ⇒ 見直しを検討（検討結果、見直さないものは諮問しない。）

・「D」評価 ⇒ 必ず見直し

# 公共事業事後評価の「簡易事後評価」について

## ① 事業効果の発現状況

- A: 事業の直接的効果以外に、ソフト事業等との連携を図ることで、波及効果を発現しており、地域の経済活動に貢献している。
- B: 事業の直接的効果を発現している。
- C: **事業の直接的効果は概ね認められる。**
- D: **事業の直接的効果が認められない(追加の対応が必要など)。**

## ② 環境への影響

- ・生活環境(騒音、振動等)
- ・自然環境(地下水、生物生態系等)
- ・社会文化環境(景観、文化等)

- A: 事業を実施したことで、環境がよくなった。
- B: 環境への影響は発生していない。
- C: **環境への影響は多少認められる。**
- D: **環境への影響が大きく何らかの対策が必要。**

## ③ 施設の維持管理状況

- A: 維持管理主体及び市民、受益者団体等が参加して、適切な維持管理が行われている。
- B: 維持管理主体により適切な管理が行われている。
- C: **維持管理、補修等が概ね行われている。**
- D: **適切な維持管理が行われていない。(維持管理計画、体制等の見直しが必要)**

## ④ 地域住民等との関わり (県民の意見)

- A: 事業の目的(効果)発現のため、事業の計画段階から地域住民との連携が図られ、施設の利用が積極的に行われている。
- B: 事業の目的(効果)が地域住民に理解され、利活用されている。
- C: **事業の目的(効果)が概ね地域住民に理解され受け入れられている。**
- D: **事業の目的(効果)が地域住民に理解されず、改善要望、苦情が絶えない。**

## ⑤ 改善措置の必要性

- A: 同種、同類事業の模範となる箇所である。
- B: 現在のところ改善の必要はない。
- C: **将来的には改善の余地がある。**
- D: **緊急に改善する必要がある。**